

「足場の組み立て等の業務に係る特別教育」

日時：平成27年12月11日(金)
13:30～17:00
会場：東京屋外広告ディスプレイ健康保険組合 会議室

■開催概要

平成27年12月11日(金)、大塚の東京屋外広告ディスプレイ健康保険組合会議室にて大久保卓也氏を講師に迎え、「足場の組み立て等の業務に係る特別教育」の講習がおこなわれました。今回は80名以上の問い合わせがあったのだが、講習の内容を参加者によく理解してもらうため、受講人数を半数に絞り開催された。



講師：大久保 卓也 氏
登録教習機関：株式会社杉孝
足場関係の営業、機材管理、商品開発、新規事業、施工管理をご経験ののち、現在は足場の安全コンサルティングを中心に、安全講話、体感訓練、足場点検、新人教育などを担当。様々な資格の講師、指導員を務め幅広い分野で活躍。

■安全パトロールへの参加

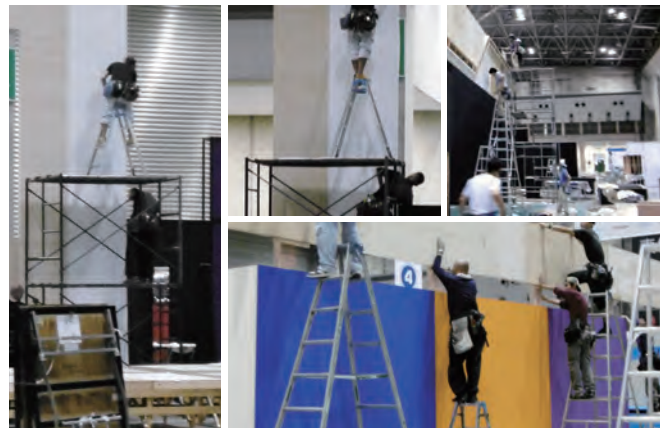
本来、足場の特別教育は、建設業が中心となる内容で、巨大なビルや橋の建設に用いられる足場の話が多く、いかに「ディスプレイ業界の作業員へ伝えるか」この課題の為、講習前に安全パトロールへ参加いただき、ディスプレイ業界の現状を見てもらった。

都内の大規模展示会場にて、展示会施工日にパトロールへ同行していただいた感想が、“衝撃でした!!”の一言。建設現場の関係者からするとディスプレイ業界の現場は、まさに無法地帯、ヘルメットの未着・脚立の使用法・移動式足場の使用方法など、この使用方法では、いつ事故が起きてもおかしくない状況、彼らを労働災害から守る必要がある。

いまだ転落事故は死傷災害の上位にあり、足場の教育を通じて、業界全体の安全水準を底上げするのが、急務であることは、言うまでもない。



写真提供：(株)セレスポ



CG画像・写真提供：(株)杉孝

■特別教育

ローリングタワーが倒れ、作業員の悲鳴が轟く、コンクリートの床に転落する作業員が叩きつけられ、鈍い音が教室中に重く響く。これは、労働災害を説明するのに使用した、CG映像による演出だが、その迫力、リアリティに受講者は驚愕する。

また実写にて、筋交いに安全帯を付けた人体と同等のおもりを落下させ、衝撃で筋交いが壊れ人体おもりが転落していく、その光景を数台のカメラで、様々なアングルからの映像とスーパースロー画像で見せる手法は、CGに引けを取らない迫力である。

ディスプレイ業界でも使用頻度の高い、脚立やローリングタワーを中心に構成された講習内容は、受講者にとっても分かりやすく、身近にとらえることができ、我々の業界向けの特別教育としては、最高水準のものが提供できたと思える。安全委員会では、業界の安全水準向上を目指し今後も努力してまいります。

今回、講習会開催にあたりご協力いただいた皆様、この場をもちまして深くお礼申し上げます。

安全委員 久保山浩介／(株)トーガシ